



2024年3月期 第1四半期決算補足説明資料

株式会社インターネットインフィニティ

<証券コード：6545>



2024年3月期 第1四半期業績

レコードブック事業

- ✓ 新型コロナウイルス感染症の5類移行を受け、利用者数は順調に増加し、当四半期末は過去最高に
- ✓ 直営店舗の売上高とフランチャイズ加盟店からのロイヤルティ収入は前年同四半期比で増加

アクティブライフ事業（従来のケアサプライ事業より名称を変更）

- ✓ 22年10月の株式会社正光技建の連結に伴い、新たに住宅リフォーム事業の売上高が増加
- ✓ シニアライフ全般をサポートする事業として、収益基盤の強化と付加価値向上を図る

在宅サービス事業

- ✓ 22年12月の施設介護事業の事業譲受により、前年同四半期比で売上、利益ともに増加

全体に関わる事項

- ✓ 23年10月予定の本社移転決定に伴う減価償却費等の一時的な負担増加により、営業利益は減少

2024年3月期 通期業績見込

- ✓ 第2四半期までは本社移転準備のための費用計上を計画しており、当四半期は概ね予定通りに推移
- ✓ 下期にかけて、レコードブックの店舗増加等に伴い営業利益増加見込み。本社移転による固定費削減の効果は下期～来期にかけて実現予定

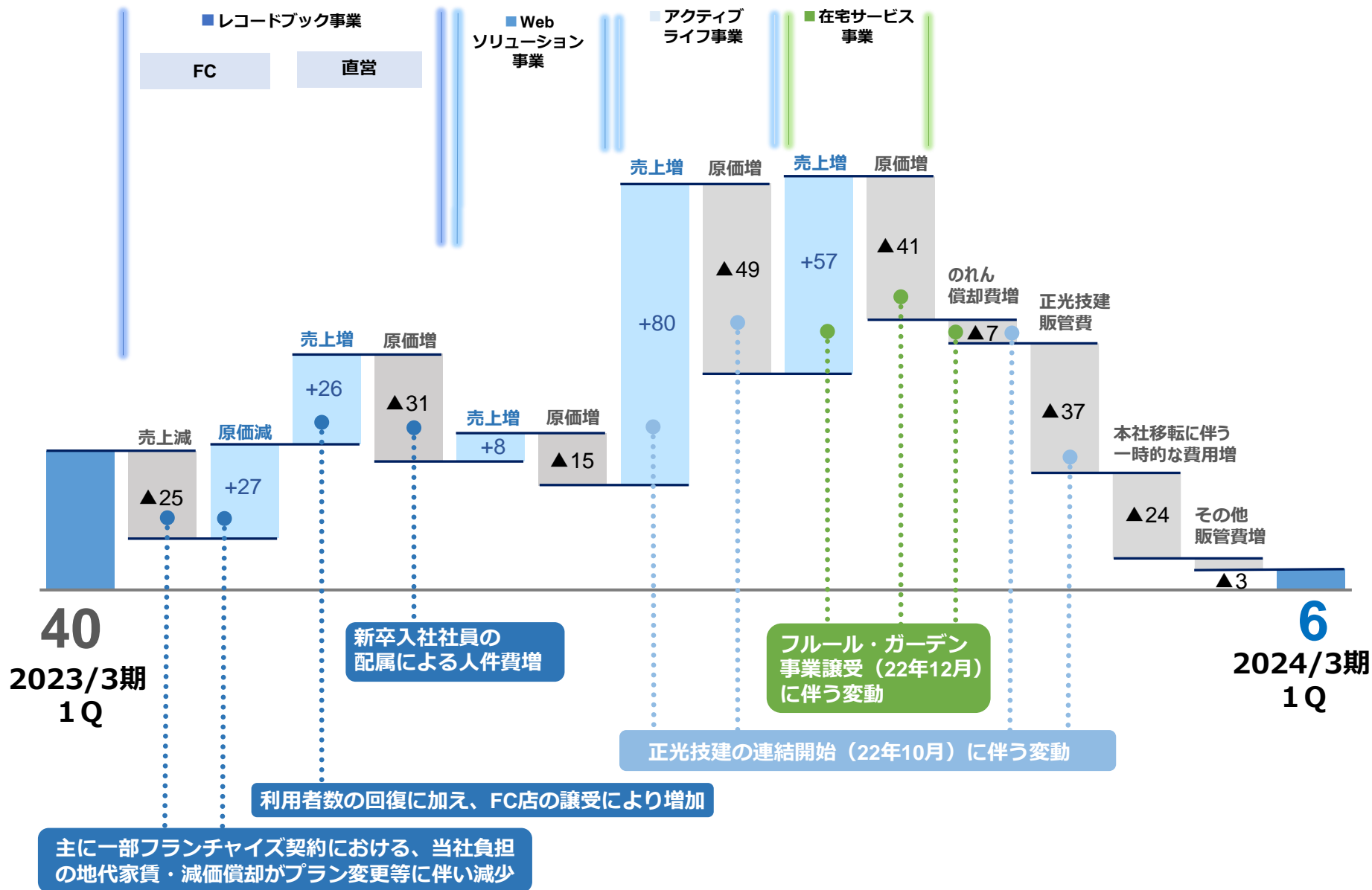
2024年3月期 第1四半期業績

単位：百万円 ()内は利益率	2023/3期 1Q 実績	2024/3期 1Q 実績	増減率	主な増減理由
売上高	1,052	1,199	+13.9%	アクティブライフ(正光技建)+80、在宅サービス+67、Web+8、レコードブック+0
営業利益	40 (3.9%)	6 (0.5%)	▲85.3%	本社▲12、レコードブック▲10、Web▲8、アクティブライフ▲8、在宅サービス+5
経常利益	48 (4.6%)	11 (1.0%)	▲76.4%	【営業外収益の増減理由】 事業譲渡益+8、助成金収入▲9
親会社株主に帰属する 四半期純利益	26 (2.5%)	2 (0.2%)	▲91.0%	【特別損失の減少理由】 前期の減損損失▲7がなくなる
ROE (%) ※	8.5	0.8		
EPS (円)	4.9	0.4		

※ 四半期のROEは年率換算しております

営業利益増減分析

単位：百万円

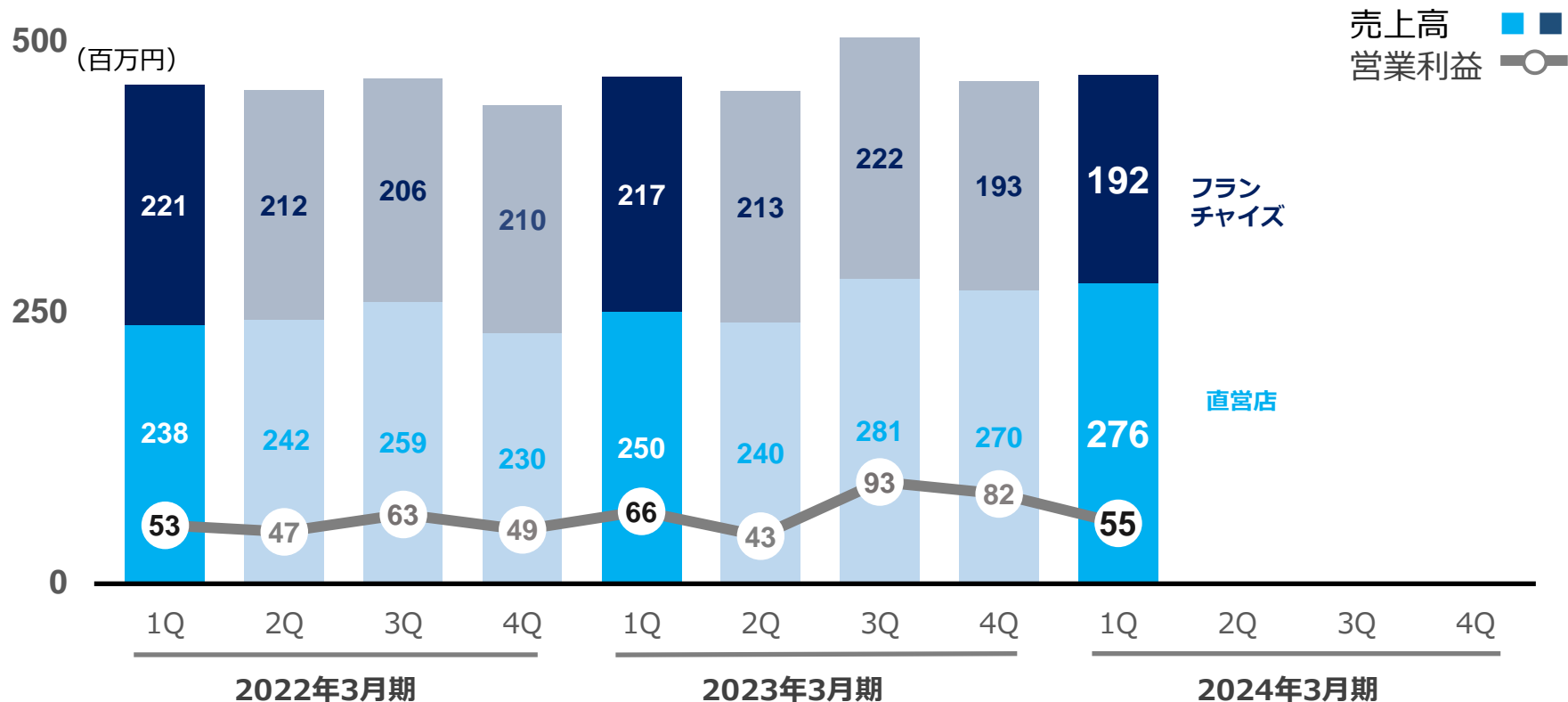


2024年3月期 第1四半期 セグメント別業績

(単位：百万円)	2023/3期 1Q			2024/3期 1Q			増減額	
	売上高	構成比	営業利益	売上高	構成比	営業利益※	売上高	営業利益
■ヘルスケアソリューション事業	729	69.3%	89	818	68.3%	61	+89	▲27
レコードブック	468	44.5%	66	468	39.1%	55	+0	▲10
直営店	250	23.8%	22	276	23.1%	15	+26	▲7
FC店	217	20.7%	43	192	16.0%	39	▲25	▲3
Webソリューション	50	4.8%	7	58	4.9%	▲1	+8	▲8
シルバーマーケティング	17	1.7%		22	1.9%		+4	
仕事と介護の両立支援	31	3.0%		32	2.7%		+1	
メディカル	1	0.2%		3	0.3%		+2	
アクティブライフ	210	20.0%	16	291	24.3%	7	+80	▲8
■在宅サービス事業	323	30.7%	83	380	31.7%	88	+67	+5
通所介護	109	10.4%	25	114	9.5%	29	+4	+4
訪問介護	126	12.0%	35	118	9.9%	34	▲7	▲0
居宅介護支援	87	8.3%	22	87	7.3%	23	+0	+0
施設介護	-	-	-	59	5.0%	1	+59	+1
調整額	-	-	▲131	-	-	▲144	-	▲12
合計	1,052	100.0%	40	1,199	100.0%	6	+146	▲34

※当四半期の営業利益には、各セグメントに本社移転に伴う一時的な費用（合計▲24百万円）が配賦されております。

売上高 468百万円（前期比+0.1%） 営業利益 55百万円（同▲16.1%）



利用者数回復に伴い既存店舗の売上は増加、新規出店に伴う初期費用売上は減少

- ✓ 利用者数増加等により、直営店の売上やFC加盟店からのロイヤルティ収入は前年同四半期比で増加
- ✓ 新規開業店舗の多くは下期予定のため、出店に伴う初期費用売上は前年同四半期比で減少
- ✓ 当社が設備投資を行い転貸している契約の期間満了に伴うプラン変更の増加により、当社負担の地代家賃・減価償却費等の原価と同額の売上高がともに減少
- ✓ 営業利益は、新卒入社の店舗スタッフや加盟店開発部門の増員等により、前年同四半期比でやや減少

利用者数 (人)

■ 直営店
■ フランチャイズ
■ 名鉄レコードブック

20,000

↔ 新型コロナウイルスの流行期間

15,000

10,000

5,000

0

2020/1 2020/3

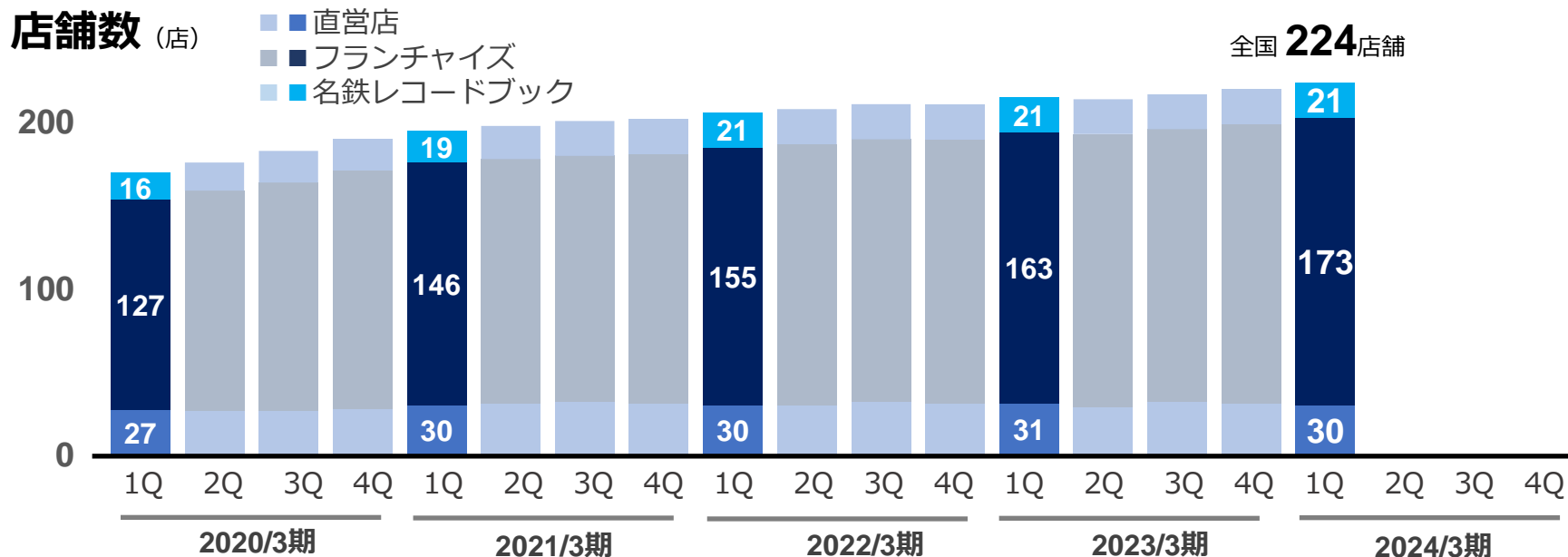
2021/3

2022/3

2023/3 2023/6

■ コロナ禍を通じて、高齢者に運動習慣の重要性への理解が浸透し、再び増加傾向へ

- ✓ 5月の新型コロナウイルス感染症の5類移行を受け、利用者数は順調に増加し、当四半期末では過去最高を更新



新規	13	8	9	8	9	3	4	2	4	3	3	0	5	3	4	4	5			
閉店	0	2	2	1	4	0	1	1	0	1	0	0	1	4	2	0	1			
店舗計	170	176	183	190	195	198	201	202	206	208	211	211	215	214	217	220	224			
FC化	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	1	0	1	1			
直営化	0	0	0	1	2	1	1	0	0	2	2	0	0	1	3	0	0			

FC増店戦略を継続し、店舗プラットフォームの構築を推進

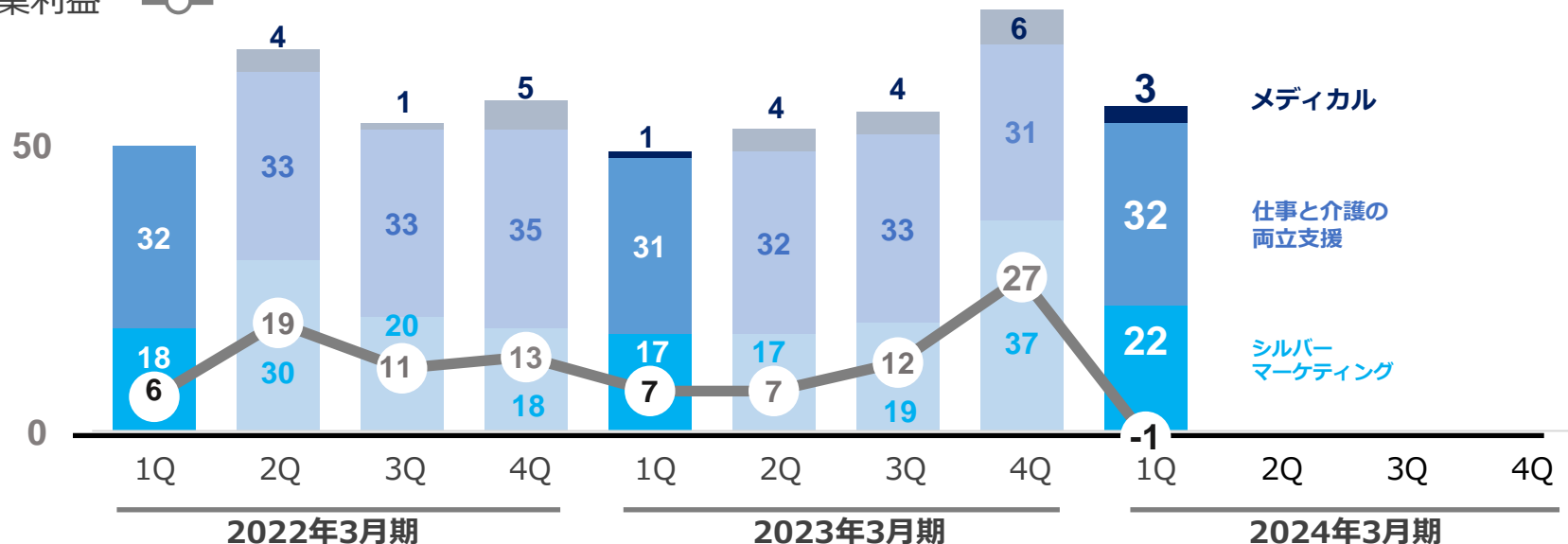
- ✓ 当四半期の新規出店数は、前年同四半期と同じ5店舗
- ✓ 既存加盟店に対する増店施策の継続により、地域を良く知るオーナーによるドミナント出店を推進。出店ペース再加速を目指す

売上高 58百万円 (前期比+15.8%)

営業利益 ▲1百万円 (前年同期 7百万円)

(百万円)

売上高 ■■■
営業利益 ○—



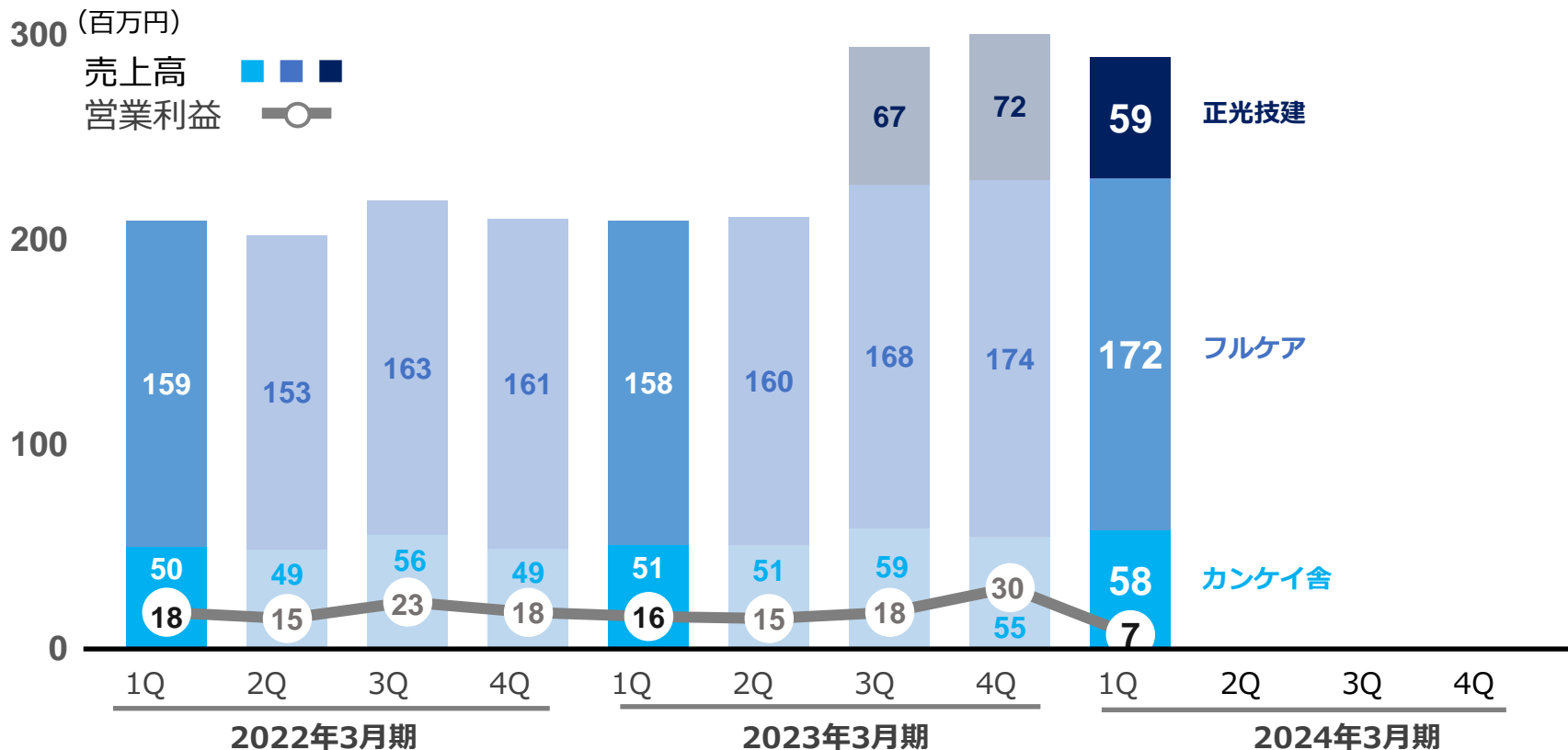
■ メディカルソリューション分野の拡大に向けて組織体制を強化

- ✓ 人員体制強化により、営業活動やコンテンツ拡充を推進。第2四半期以降でさらなる売上増加を見込み、当四半期でもメディカルソリューションで複数の新規受注を獲得。主に人件費等の増加により、当四半期の営業利益は一時的に減少するも、第2四半期以降は回復の見込み
- ✓ 仕事と介護の両立支援では、当四半期より新たに24社に「介護コンシェルジュ」の提供を開始

当四半期の介護コンシェルジュ提供開始企業

日立グループ計23社、株式会社エレケア

売上高 291百万円（前期比+38.5%） 営業利益 7百万円（同▲51.2%）



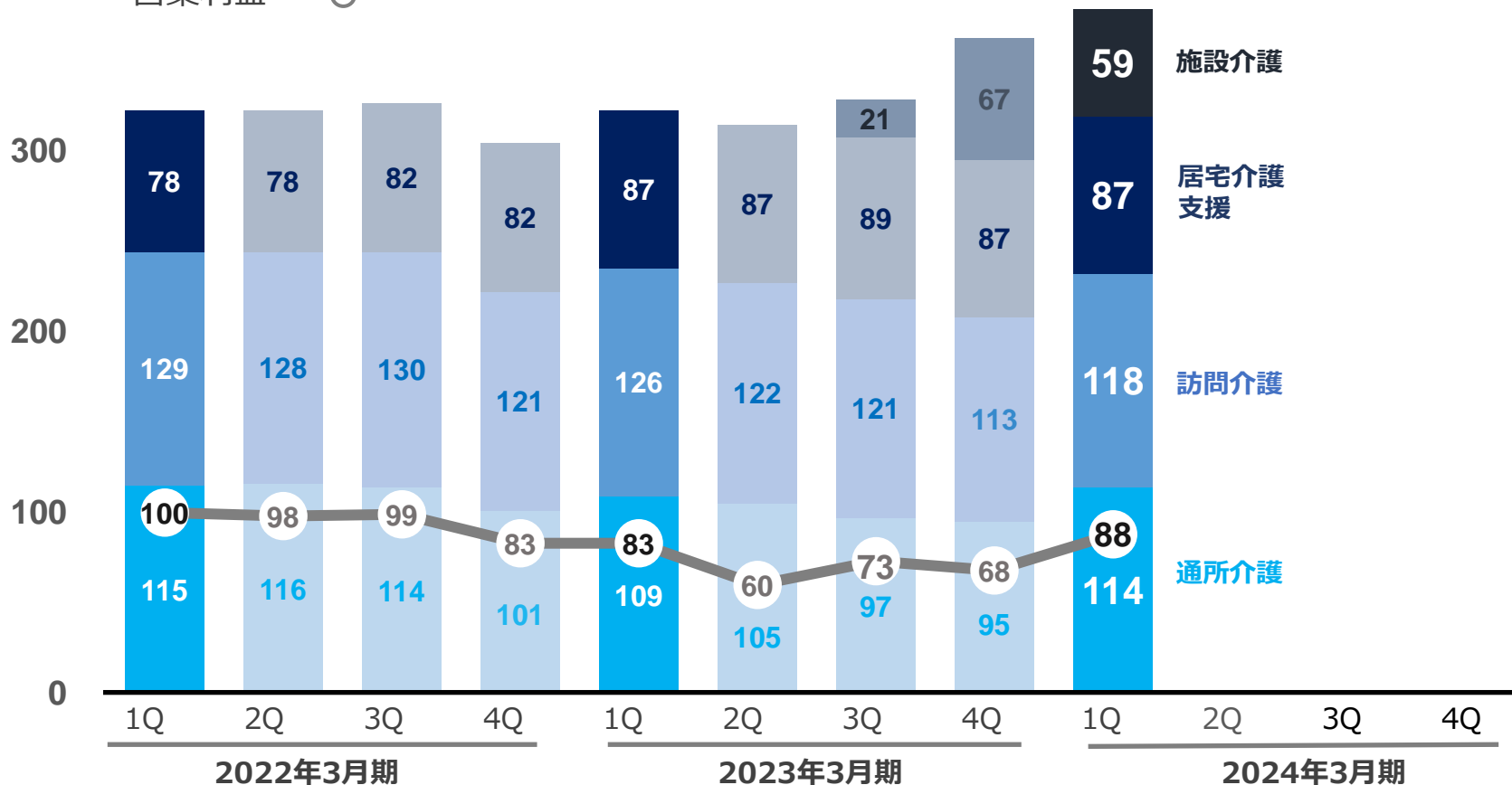
■ アクティブライフ事業に名称を変更、住宅リフォームの売上高が増加

- ✓ 22年10月の正光技建の連結により、新たに住宅リフォーム事業を開始。これを機に介護保険外事業を含めたシニアライフ全般をサポートする事業として位置づけを整理しアクティブライフ事業に名称変更
- ✓ 住宅リフォーム事業では資源価格高騰等の影響に伴う原価率上昇が影響し、営業利益はやや減少。子会社間のノウハウ共有やレコードブックとの連携による付加価値向上により利益率改善を見込む

売上高 380百万円（前期比+17.7%）

営業利益 88百万円（同+6.2%）

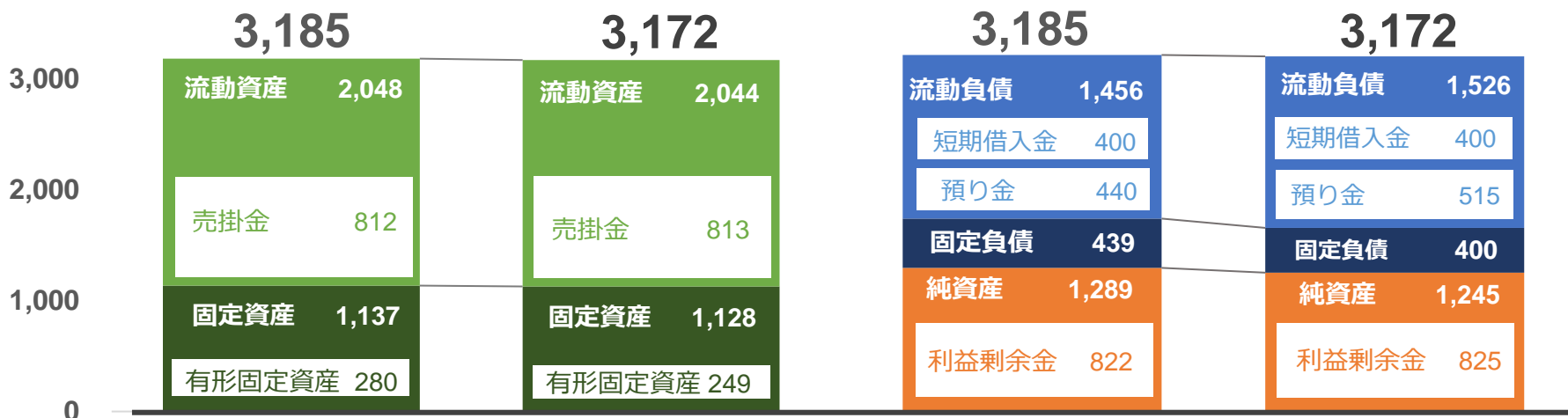
(百万円) 売上高 ■■■■
営業利益 ○—



■ 施設介護事業の譲受により、前年同四半期比で売上高、営業利益ともに増加

- ✓ 連結子会社のカンケイ舎において、昨年12月の事業譲受により新たに施設介護事業を開始
- ✓ どのステージの要介護者も誰一人取り残さず、健康寿命延伸に取り組む社会の実現を目指す

2024年3月期 第1四半期 連結貸借対照表



(単位：百万円)

2023/3期

2024/3期1Q

2023/3期

2024/3期1Q

	2023/3期	2024/3期1Q	増減額
流動資産	2,048	2,044	▲4
現金・預金	1,107	1,056	▲51 ①
売掛金	812	813	+1
その他	128	174	+46
固定資産	1,137	1,128	▲9
有形固定資産	280	249	▲31
無形固定資産	449	433	▲16
投資その他資産	407	444	+37
資産合計	3,185	3,172	▲13

	2023/3期	2024/3期1Q	増減額
流動負債	1,456	1,526	+70
短期借入金	400	400	-
預り金	440	515	+75 ②
その他	616	611	▲5
固定負債	439	400	▲39
長期借入金	307	279	▲28
その他	131	120	▲11
純資産合計	1,289	1,245	▲44
資本金	252	252	-
資本剰余金	237	237	-
利益剰余金	822	825	+3
自己株式	▲23	▲69	▲46 ③
負債純資産合計	3,185	3,172	▲13

- ① 主に前期末の未払税金の納付に伴う減少
- ② 主にレコードブックの利用者数回復に伴う増加
- ③ 23年5月の自己株式取得（124,800株）により増加

2024年3月期 通期業績見通し

23/3期に実行した2件のM&Aによる増収効果に加え

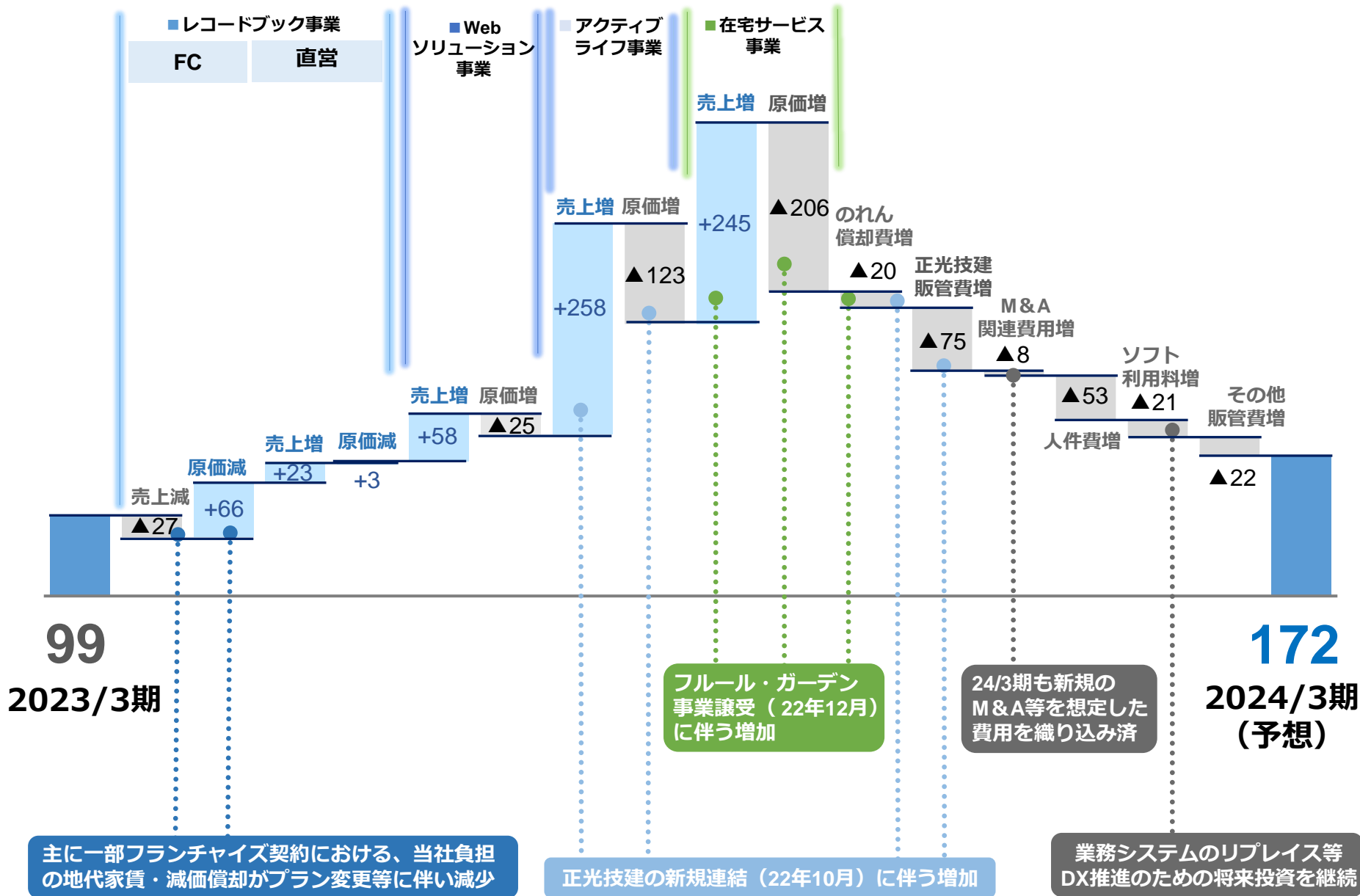
DX推進等の将来投資に伴う利益体質改善効果により、大幅な増益の見込み

単位：百万円 ()内は利益率	2023/3期 通期実績	2024/3期 通期予想	前期比 増減率	2024/3期 1Q実績	通期予想比 進捗率
売上高	4,464	5,022	+12.5%	1,199	23.9%
営業利益	99 (2.2%)	172 (3.4%)	+74.2%	6	3.5%
経常利益	149 (3.3%)	160 (3.2%)	+7.5%	11	7.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	35 (0.8%)	106 (2.1%)	+202.6%	2	2.3%
ROE (%)	2.8	7.9		0.8	
EPS (円) ※	6.5	20.0		0.4	

※ 通期予想のEPSは当四半期における自己株式の取得による影響を考慮しております

営業利益見通し増減分析

単位：百万円



2024年3月期 セグメント別業績見通し

(単位：百万円)	2023/3期実績			2024/3期見込			増減額	
	売上高	構成比	営業利益	売上高	構成比	営業利益	売上高	営業利益
■ヘルスケアソリューション事業	3,136	70.3%	417	3,449	68.7%	535	+312	+117
レコードブック	1,887	42.3%	284	1,883	37.5%	361	▲3	+76
直営店	1,041	23.3%	117	1,063	21.2%	106	+21	▲10
FC店	845	18.9%	167	820	16.3%	254	▲24	+87
Webソリューション	233	5.2%	53	291	5.8%	57	+58	+3
シルバーマーケティング	90	2.0%		104	2.1%		+14	
仕事と介護の両立支援	127	2.9%		133	2.6%		+5	
メディカル	15	0.3%		54	1.1%		+38	
アクティブライフ	1,015	22.8%	79	1,274	25.4%	116	+258	+37
■在宅サービス事業	1,327	29.7%	284	1,573	31.3%	364	+245	+79
通所介護	406	9.1%	63	442	8.8%	94	+35	+31
訪問介護	482	10.8%	132	503	10.0%	149	+21	+17
居宅介護支援	350	7.8%	85	362	7.2%	93	+12	+7
施設介護	88	2.0%	3	264	5.3%	26	+176	+22
調整額	—	—	▲603	—	—	▲727	—	▲123
合計	4,464	100.0%	99	5,022	100.0%	172	+558	+73

2024年3月期 セグメント別業績見通しの進捗状況

(単位：百万円)	売上高	営業利益
合計	<p>通期予想 5,022 1 Q実績 1,199</p> <p>0% 25% 50% 75% 100%</p> <p>レコードブック事業の利用者数は過去最高を更新。 Webソリューション事業は案件規模により変動があるため、概ね予定通りの推移</p>	<p>通期予想 172 1 Q実績 6</p> <p>0% 25% 50% 75% 100%</p> <p>上期は本社移転関連の一時費用が発生。下期にかけて移転による固定費削減に加え、FC増店によるロイヤルティ収入増により利益増加を見込む</p>
レコードブック (直営店)	<p>通期予想 1,063 1 Q実績 276</p> <p>0% 25% 50% 75% 100%</p>	<p>通期予想 106 1 Q実績 15</p> <p>0% 25% 50% 75% 100%</p>
レコードブック (FC店)	<p>通期予想 820 1 Q実績 192</p> <p>0% 25% 50% 75% 100%</p>	<p>通期予想 254 1 Q実績 39</p> <p>0% 25% 50% 75% 100%</p>
Web ソリューション	<p>通期予想 291 1 Q実績 58</p> <p>0% 25% 50% 75% 100%</p>	<p>通期予想 57 1 Q実績 ▲1</p> <p>0% 25% 50% 75% 100%</p>
アクティブ ライフ	<p>通期予想 1,274 1 Q実績 291</p> <p>0% 25% 50% 75% 100%</p>	<p>通期予想 116 1 Q実績 7</p> <p>0% 25% 50% 75% 100%</p>
在宅サービス	<p>通期予想 1,573 1 Q実績 380</p> <p>0% 25% 50% 75% 100%</p>	<p>通期予想 364 1 Q実績 88</p> <p>0% 25% 50% 75% 100%</p>

成長投資と株主還元の両立を図りつつ資本効率の向上を目指す方針のもと 2024年3月期期末からの配当開始を予定

■ 利益配分に関する基本方針

- ✓ 資本の健全性や成長投資とのバランスを検討した上で、配当を基本として株主還元を実施
- ✓ 利益成長を通じ、1株当たり配当金の安定的・持続的な増加を目指し、配当性向20%を目標

■ 2024年3月期配当予想について

- ✓ 上記の基本方針を踏まえ、2024年3月期期末より配当実施予定（初配）

基 準 日	2024年3月31日
1 株 当 た り 配 当 金	4.0円
配 当 金 総 額	21百万円
配 当 性 向	20.4%
配 当 原 資	利益剰余金

資料中の業績見通し数値は、現時点において入手可能な情報から得られた判断・予想に基づくものですが、リスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定及び考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、事業環境、経済情勢の悪化、法令その他の関連する規制の動向、訴訟における不利な判決等がありますが、これらに限定されるものではありません。

問合せ窓口：経営企画部
Email: ir@iif.jp